

平成 29 年度若手後継者等未来創造事業

甲賀市の魅力再発見と地域住民ニーズの調査業務
～「甲賀市にあったらいいな」を実現するための女性部員による調査事業～

報告書

甲賀市商工会女性部

2018 年 2 月

目次

I	事業および報告書について.....	3
II	未来創造委員会について.....	4
II-1	会の構成.....	4
II-2	会の実施日.....	4
II-3	第1回未来創造委員会（平成29年7月18日実施）.....	5
II-4	第2回未来創造委員会（平成29年10月17日実施）.....	7
II-5	実地調査（視察研修）（平成29年11月21日実施）.....	9
II-6	第3回未来創造委員会（平成29年12月11日実施）.....	10
III	質問紙調査の集計結果.....	12
III-1	調査概要.....	12
III-2	調査結果（単純集計）.....	12
	単純集計の方針.....	12
	設問A 性別.....	12
	設問B 年齢.....	13
	設問C お住まい.....	13
	設問D 本日の同行者.....	14
	設問E 本日の参加・訪問目的.....	14
	設問F あなたは甲賀市が好きですか。理由も教えてください。.....	15
	設問G 甲賀市について、次の各項目であなたの評価を教えてください。.....	16
	設問H 甲賀市に「あってよかった！」と思うものを教えてください。.....	18
	設問I 甲賀市に「あったらいいのに！」と思うものを教えてください。.....	22
	設問J また甲賀市に来たいですか。.....	28
IV	まとめ.....	34

巻末資料 1～10

I 事業および報告書について

この報告書（以下、「本報告書」。）は、甲賀市商工会女性部（以下、単に「女性部」というときはこれを指す。）の平成 29 年度若手後継者等未来創造事業として位置付けられる「甲賀市の魅力再発見と地域住民ニーズの調査事業～「甲賀市にあったらいいな」を実現するための女性部員による調査事業～」（以下、「本事業」。）に関する報告を行うものである。

本事業は事業計画書記載の通り、「甲賀市の魅力を再発見するとともに、地元住民と観光客が『甲賀市にあったらいいな』と望むものを調査することを通じて、女性部員が各種調査手法を学ぶと共に、部員事業所の経営計画策定に役立てることができる調査報告書を作成すること」を短期目標としている。

この目標を実現するために、女性部より未来創造委員 17 名を選出した。龍谷大学社会学部の笠井賢紀准教授をコーディネーターとし、同氏の助言を受けながら各種調査を実施し調査報告書を作成することを事業計画書に示しており、同氏の助言を受けながら未来創造委員会を開催した。事業年度は平成 29 年度（平成 29 年 4 月から平成 30 年 3 月。以下「本事業年度」。）である。

本報告書は、コーディネーターが委託を受けて執筆したものである。調査結果の報告に本事業全体の整理を追加し、次のような構成を取っている。

- I 事業及び報告書について（本項目）
- II 未来創造委員会について
- III 質問紙調査の集計結果
- IV まとめ

巻末に、各種資料を付す。

- 資料 1 事業計画書
- 資料 2 第 1 回未来創造委員会 次第
- 資料 3 第 1 回未来創造委員会 コーディネーターレジュメ
- 資料 4 第 2 回未来創造委員会 次第
- 資料 5 第 2 回未来創造委員会 コーディネータースライド
- 資料 6 第 3 回未来創造委員会 次第
- 資料 7 第 3 回未来創造委員会 コーディネータースライド
- 資料 8 実地調査 日程表
- 資料 9 実地調査 ワークシート
- 資料 10 質問紙

Ⅱ 未来創造委員会について

Ⅱ-1 会の構成

女性部の未来層創造委員会は委員 17 名からなる。本事業年度第 1 回時点における委員会名簿は次の通りである。甲賀市商工会の 5 支部（水口、土山、甲賀、甲南、信楽）から支部長 1 名、副支部長 2 名ずつ（計 15 名）と女性部監査委員 2 名からなる。また、事務局 6 名と前述のコーディネーター 1 名がつく。

氏名	女性部役職	支部名（支部役職）
寺井純子	部長	甲南（支部長）
前田敦子	副部長	土山（支部長）
檜野みどり	副部長	甲賀（支部長）
米山忍	副部長	水口（支部長）
杉本佐智子	副部長	信楽（支部長）
出口佐智代	常任委員	水口（副支部長）
廣瀬好子	常任委員	水口（副支部長）
市井美智子	常任委員	土山（副支部長）
田中久美	常任委員	土山（副支部長）
田中嘉代子	常任委員	甲賀（副支部長）
辻 節子	常任委員	甲賀（副支部長）
服部登貴枝	常任委員	甲南（副支部長）
堀井和美	常任委員	甲南（副支部長）
小嶋梨恵	常任委員	信楽（副支部長）
平岡祐子	常任委員	信楽（副支部長）
北村美代子	監査委員	水口
石田みどり	監査委員	土山

Ⅱ-2 会の実施日

本事業年度に開催された未来創造委員会は次の 3 回であり、いずれも 13 時 30 分から 15 時までの 1 時間半、甲賀市商工会 2 階会議室にて行われた。

第 1 回未来創造委員会 平成 29 年 7 月 18 日（火）

第 2 回未来創造委員会 平成 29 年 10 月 17 日（火）

第 3 回未来創造委員会 平成 29 年 12 月 11 日（火）

また、この 3 回とは別に平成 29 年 11 月 21 日（火）に 9 時 30 分から 16 時まで実地調査を行った。

Ⅱ-3 第1回未来創造委員会（平成29年7月18日実施）

第1回未来創造委員会では、委員長（女性部長）より挨拶、各出席者より自己紹介、事務局より本事業と甲賀市概況の説明が行われた後、事務局が整理した「検討事項」をコーディネーターの進行のもとで議論した。以下、コーディネーターによる議論をまとめる。

まず甲賀市概況を理解したり調査を行ったりするためには、データには大きく分けて質的データと量的データがあり、調査手法には大きく分けて質的な調査と量的な調査があることを構成員と共有した。

<検討事項①「甲賀市について改めて考えてみよう！」>

甲賀市概況について知るためには、当日資料2として配布されたものだけではなく、「地域経済分析システム RESAS」、「地図で見る統計」等、インターネット上に政府が公開しているシステムがあることが紹介された。これらのシステムは前提となる知識がほとんど必要なく操作が簡便であるから、他市との比較を行う際等に構成員が積極的に用いるとよい。また、統計処理に関する一定の知識と能力がある構成員は「e-Stat」により統計表を入手し分析することが可能であることも付言された。

<検討事項②「各委員の甲賀市の自慢話をしよう！」>

出席した全委員が、甲賀市の魅力として自慢できるものを一人ずつ順に発言した。伝統的な祭りや食べ物のほか、災害が比較的少ないこと、寺社仏閣の歴史が深いこと、貧困家庭の支援等のボランティア活動が盛んであること等、多くの項目があがった。

コーディネーターからはマーケティングで用いられる「ジョハリの窓」の応用、すなわち「自分（事業所）」と「他人（顧客）」とが「わかっている」か「わかっていない」かというマトリックスによって情報の認知について整理する方法が紹介された。本事業は、事業名称に「地域住民ニーズ」とあるため、「自分（女性部）たちがわかっていない」が「地域住民たちはわかっている」というジョハリの窓でいうところの「盲点の窓」が対象となる。マーケティングにおいて「盲点の窓」は顧客リサーチが必要とされるものであり、本事業が調査を行うのは自分たちの盲点をなくすことが第一の目標となることが共有された。ただし、ニーズ志向だけで検討を進める必要は無く、「女性部がわかっているが住民がわかっていない」（「秘密の窓」）の情報はプロモーションを検討すればよいし、「両者ともにわかっていない」（「未知の窓」）を発見し価値を共に新たに作り上げていく価値共創プロセスを目指すという方途も将来的には開かれていることも説明された。

<検討事項③地域のみなさんの意見を聞く方法を考えよう！>

コーディネーターから、主な調査手法としてインタビュー、FGI（focus group interview）、エスノグラフィー、参与観察、質問紙調査等があることと、それぞれの調査手法についての説明があった。ニーズ調査を行うにはインタビューや質問紙調査、価値共

創を目指す場合にはエスノグラフィー等が適切な手法と考えられることも付言された。ここで強調されたのは、調査の際には「目的に合っているか」、「自分たちでできそうか」、「実現したら、行動に繋がる結果が生まれそうか」がきわめて重要だということである。調査手法は目的に即して慎重に検討されなければならない。また、本事業は「女性部員による調査事業」であるから、自分たちで理解・実施可能なものではなくてはならない。

こうした前提に立ち、どのようなことを調査したいか、また、その調査を実現するために必要なことは何かを構成員が各自でワークシートに記入した。ワークシートに示された、テーマ、背景、対象、仮設、方法、予算、期間、専門性、資源、障壁といった10の項目は、どのような調査の場合にも事前に検討されるべきものである。

コーディネーターからは、本事業年度において構成員が自ら挑戦してみたい調査手法を問うたところ、構成員からは特に反応が見られなかった。ただし、調査プロセスで「会話を大事にしたい」という声があがり、口頭による質問紙調査を行う方向性が確認された。

<検討事項④「地域のみなさんの意見を聞く方法を教えてもらおう！」>

本事業では、甲賀市内だけではなく甲賀市外から観光等で訪れる人たちのニーズも知りたいとされている。方法としては、既にあるデータの利用、業者への発注、自らの調査等がある。本事業は「女性部員による調査事業」を行うものであるから、自らの調査を行う方針となった。

ただし、女性部員は市内の住民ニーズ調査に注力するため、市外観光客のニーズ調査はコーディネーターに一部任せることとした。市内・市外で比較検討が可能なように、両者に同じ質問紙を用いること、会話を大事にするために街頭アンケートのような口頭による質問紙調査を行うことが再度確認された。本来、未来創造委員会において質問紙を作成すべきだが、第1回の席上でコーディネーターに質問紙作成を一任することが決められ、コーディネーターはこれを了とした。次回委員会までに、コーディネーターが作成する質問紙を用いて、各委員は市内のイベントや自事業所の顧客に10件程度ずつ聞き取り調査を行うこととなった。

【会を終えてからの展開】

会の決定を受け、当初事業計画とは異なるもののコーディネーターが質問紙を作成することとなり、平成29年9月18日に委員長と事務局に質問紙を送付した。その上で、配布可能なイベント・施設等を訪ね、女性部員による調査の実施を求めた。

Ⅱ-4 第2回未来創造委員会（平成29年10月17日実施）

第2回未来創造委員会では、第1回以降の状況について事務局から報告を受けた後、コーディネーターにより質問紙を用いた調査についての解説が行われた。本来、女性部員が作成すべき質問紙をコーディネーターが作成したため、質問紙調査についての解説が行われなければ、「女性部員が各種調査手法を学ぶ」という当初目的が達成されないためである。

質問紙は1種類で、これを女性部員は市内住民に用い、コーディネーター（大学研究室による対応。）は観光地の来場者に用いることで比較検討を行うことが再度確認された。また、調査の目的は「あったらいいな」と思われることを明らかにすることであり、アンケートの実施、すなわち配布・回収・集計・分析はコーディネーターが方法を教え、女性部員自らが行うべきものであることが共有された。

ただし、この時点において既に女性部員により、質問紙を用いた670件の調査が行われていた。これは、当初確認されていたイベントや施設での聞き取り調査という条件が守られず、各女性部員が各支部の構成員や近隣住民に配布し回収したものであることによる。質問紙の設問はすべて、イベントや施設等の「来場者」を対象として綿密に設計されたものであるため、「自宅にいて回答する者」が大半を占める調査の実施状況は想定外の展開であった。このことにつき、コーディネーターからは、調査は「目的に合っているか」が重要であり、今回は「特定の場に来ている人対象」に「会話を重視」した、質問紙を用いた聞き取り調査であったが、その前提が守られなかったことについて、強く苦言が呈された。

質問紙の設計を含み調査全体の設計が一定の専門性と期間を有するものであり、だからこそ本事業を通じて調査手法の習得を専門家の助言を得て行うことが必要であることがコーディネーターから告げられた。また、今回のように専門家が質問紙を設計した場合においても、設計通りに用いられなければ当初目標を満たすような分析は困難であるか無理であることも共有された。

今回、コーディネーターによって作成された質問紙は、大学研究室の構成員による調査も想定されていたため、調査員による甲賀市についての知識を前提としない簡単な内容になっていることと、クロス集計を可能にするために回答者の属性を聞く設問群が設けられている。

専門的に統計を学ぶわけではない女性部員が自ら質問紙調査を行えるようになるためには、特にクロス集計が重要である。クロス集計は複数の設問間の回答について、回答者の属性ごとの違い（傾向）を知るためのものである。どの設問間でクロス集計をするかは、事情に明るい者が設定するのが適切な場合が多い。そのため、各構成員に「クロス集計すべき項目」の提示が求められ、次のような項目が選ばれた。以下の「○○×○○」は「○○（属性）と○○（他設問）とのクロス集計」を意味する。

- ・お住まい（地元？） × 参加目的（買い物）
- ・お住まい（どの町？） × 交通の便
- ・お住まい（どの町？） × 行政サービス
- ・年齢 × 「あったらいいのに！」
- ・年齢 × 「あってよかった！」

また、回答者は女性が多いのではないかという予想が構成員から出された（後述するよ
うに、回答者の女性割合は70%であり、構成員の予想通りであるが、この偏りは、女性部
員が各支部の構成員や近隣住民に配布したことに起因すると思われる）。

クロス集計以外に、質問紙調査を行う際に注意すべきこととして、自由記述の取り扱い
について議論された。「生の声」を求めて自由記述による回答が多い質問紙も世の中には
散見されるが、集計の際には自由記述をあらためて分類（post-coding）する必要があり、
これをしないと全体としての傾向が十分にわからなくなる。そのため、できるだけ事前に
選択肢として分類（pre-coding）しておくのがよい。事前分類は、やはり事情に明るい者
が行うのがよく、この点からも、女性部員自らが質問紙を設計することの意義がある。

集計においては、表計算ソフトウェアを用いるのが簡便であり、クロス集計を超える統
計的な処理を行わない場合は統計ソフトウェアを用いる必要はない。回収した質問紙1件
ずつを個票と呼び、集計表では「1行につき1個票」で入力していくのであって、選択肢
ごとに回答件数を入力していくわけではないことが説明された。質問紙調査は投票と異な
り、結果としての件数だけがわかればよいのではなく、クロス集計のように各設問間の回
答に関する分析があるため、個票として入力しなければならない。

個票の入力と集計結果の提示方法までが、表計算ソフトウェアの画面を投影して説明さ
れた。また、個票入力のためのフォーマットと、個票入力をすると単純集計の結果が自動
で計算されるフォーマットをコーディネーターから女性部に提供した。今後の展開とし
て、個票入力、表・グラフ作成、自由記述の分類（post-coding）、クロス集計、分析とい
う流れが示された。ただし、冒頭での確認や示された今後の展開とは異なり、未来創造委
員会からはコーディネーターに、すべての個票の入力が依頼され、コーディネーターは事
務局と諮ることとした。

【会を終えてからの展開】

コーディネーターからは事務局に対し、質問紙の設計のみならず入力作業までコーデ
ィネーターが行うことは当初の事業計画を逸脱していることであると抗議した。その上で、
作業に人的資源を要するので、大学研究室として実施予定の調査はほぼ実施せず、入力作
業に予算を配分することを確認した。具体的には、女性部調査も合わせて入力は700件を
上限、クロス集計は5件程度を上限とすることとなった。

Ⅱ-5 実地調査（視察研修）（平成 29 年 11 月 21 日実施）

第 2 回と第 3 回の未来創造委員会の中に、構成員が市内の観光施設等を実際にめぐること、「あってよかった」、「あったらいいのに」と思えるものが何かを検討する実地調査が行われた。実地調査は未来創造委員会構成員が企画検討し、当日はコーディネーターが同行した。コーディネーターは移動のバス車中で、訪問先の魅力についてコメントするとともに、構成員にワークシートを配布し発見を促した。

訪問先は、大徳寺、正福寺、龍福寺、大鳥神社、永雲寺という 5 つの寺社仏閣である。各訪問先で、住職や神主等の責任者に由来・縁起や活動について話を聞き、自由に質疑を行ったり施設内外を見学したりした。

ワークシートでは、それぞれの訪問先において「あってよかった！」と思えること、「あればいいのに！」と思ったことについて、「回答者（委員）自身にとって」と「ほかの誰かにとって」の 2 つの立場で記入した。「ほかの誰か」は集合時点で各構成員が自由に設定したが、たとえば「外国人にとって」、「子どもにとって」、「高齢者にとって」という設定があった。このように、自分とは属性（世代、文化等）が異なる他者の立場を想像して考えることは、独善的な事業にならないように配慮する際に重要なことである。

ワークシートの集計結果をまとめたのが次の表である。

<回答者自身にとって「あってよかった！」であること>

数々の古い仏像／残ってよかった山門／座禅などの非日常体験／きれいな庭／たくさん
の石灯籠／大きなイチョウ／きれいなトイレ／いろいろな由来（徳川家／七五三／
土山茶など）／きれいなウェブサイト／わかりやすく楽しい法話／鳥居からの風景

<ほかの誰かにとって「あってよかった！」であろうこと>

きれいな庭／参道の美しさ／掃除／本堂に椅子で座れる／平地のお墓／おもてなしの
心・奥様の対応／パワースポット（縁結び）／お茶室／かわいいおみくじ／本堂に上が
れること／各種体験／お土産

<回答者自身にとって「あればいいのに！」であること>

効果的な広報・催しのお報せ・貴重なもののアピール／暖房／広い駐車場／説明の看板、
インフォメーション、仏教用語の説明／時間的に余裕をもって見て回りたい／座椅
子／交通手段／ツアー／パンフレット／

<ほかの誰かにとって「あればいいのに！」であろうこと>

トイレの案内板／カップリングパーティ／寺の位置を示す看板（外国語も）／ネットでの
告知／ボタンを押すと説明が聞ける装置／手すり

訪問先が寺社仏閣に限定されていたことは検討の余地があるが、地域住民にも十分に認知されているわけではない資源の発掘が促進されたことに意義があったと思われる。

Ⅱ-6 第3回未来創造委員会（平成29年12月11日実施）

第3回未来創造委員会では、コーディネーターより質問紙調査と実地調査の結果が報告され、今後の展開について議論された。実地調査については本報告書Ⅲ、質問紙調査結果の詳細は本報告書Ⅳを参照されたい。

質問紙調査結果の報告に際し、設問の様式によって結果として表すグラフの種類が異なること等の説明が行われた。また、第2回未来創造委員会であげられたクロス集計を行う項目の案とは別に、コーディネーターが行ったクロス集計を含めた結果の分析が示された。

まず、「本日の参加・訪問目的」では、無回答者が3割近く、これは参加・訪問ではなく自宅等で配布された質問紙に回答した者の多さを示している。このため、第2回未来創造委員会で共有されたとおり、本来の目的を果たせたとはいえない。

次に、「甲賀市について、あなたの評価を教えてください」という設問の12項目については、相対的に、「人づきあい」、「治安」、「衛生」について高い評価、「交通の便」、「買い物への便」、「観光の充実」、「飲食の充実」、「娯楽の充実」について低い評価、「雇用」、「活気」、「行政サービス」、「祭りやイベント等の催事」について中間的な評価であった。ソフト面では充実しているがハード面ではニーズが満たされていないと読み取れる。

ただし、「居住地域」と「交通の便」でクロス集計を行うと、旧5町（女性部支部と対応）それぞれで大きく状況が異なり、甲賀・水口では低評価は2割から3割に留まるのに対し、信楽では5割近くが低評価である。

また「人づきあい」と「甲賀市が好きか」という設問間の回答では、甲賀市が好きな人ほど、人づきあいが良いと感じている傾向が読み取れる。具体的には、甲賀市が「とても好き」な回答者の8割弱、「好き」な回答者の5割強が「人づきあい」を高評価しており、両者とも低評価は5%にも満たないのに対し、甲賀市について「嫌い」な回答者の6割強が「人づきあい」を低評価している。甲賀市が「嫌い」とした回答者は全体の1%（690名中9名）であり、量的に結果を評価するのであれば「人づきあい」を重視する魅力づくりが効果的と思われる。

また、自由記述欄で「あればいいのに！」では、郊外型の大型ショッピングモールをあげるものが多くあった。コーディネーターからは、調査結果であるからといってショッピングモールを誘致するというような多数決的思考は不適切であると説明された。質問紙調査で「あればいいのに！」と思われたすべての施設を市においた場合、甲賀市ならではの特色はほとんど残らない。ただし、そのような諸施設を求める声が多いことは謙虚に受け止め、商工会会員の事業所が市内外の人たちにとってどのように魅力を発信していくか検討・実施することが重要である。

実地調査（視察研修）においては、「楽しい法話」、「おもてなしの心」など親しみやすさや心遣いといった「人」にかかわる項目が「あってよかった！」と評価されている。他

方、せっかくそうした良さがあるのに知られていないということが問題視され、「効果的な広報」、「ツアー」などが「あればいいのに！」と評価された。

質問紙調査と実地調査の結果を踏まえ、コーディネーターからは「未来創造」に向けて、2つのアプローチがあることが紹介された。一つ目は、現状分析から始めるアプローチであり、だめなところを無くす・減らすように努め、いいところを維持する・伸ばすように努めることである。質問紙調査や「あってよかった！」の評価は、このことに対応する。地域活性に活かせるものは既にあっても、活用方法をみつけなければ「資源」にはならない。二つ目は、未来を語ることから始めるアプローチである。「あればいいのに！」は、このことに対応する思考である。個別にわかれているものもものとの繋がりを作る「物語化」が重要であり、実地調査で学んだ歴史・由緒の繋がりだけではなく、日常生活の小さく身近なものも繋がりを可視化し物語として紡いでいくことが重要である。

コーディネーターのまとめを受け、全構成員から、今後の展開としてどのような事業に取り組んでいきたいかが報告された。おおよそすべての構成員から、実地調査を踏まえて、寺社仏閣をめぐるツアーの企画運営を女性部として取り組んではどうかという方向性が示された。

Ⅲ 質問紙調査の集計結果

Ⅲ-1 調査概要

項目	内容
目的	甲賀市に「あったらいいな」と思われる魅力を明らかにすること
対象	①甲賀市住民 ②甲賀市外から甲賀市への観光客
方法	質問紙調査 ・面接調査法を前提としたが、留置調査法が併用された 対象①：女性部員によるイベント、施設および部員・近隣住民への配布・回収 対象②：コーディネーターの研究室による観光施設での配布・回収
回答数	対象①：670件 対象②：20件 合計：690件 (無回答項目があるものも含め全件を有効回答票とする)
質問紙	巻末資料10

Ⅲ-2 調査結果（単純集計）

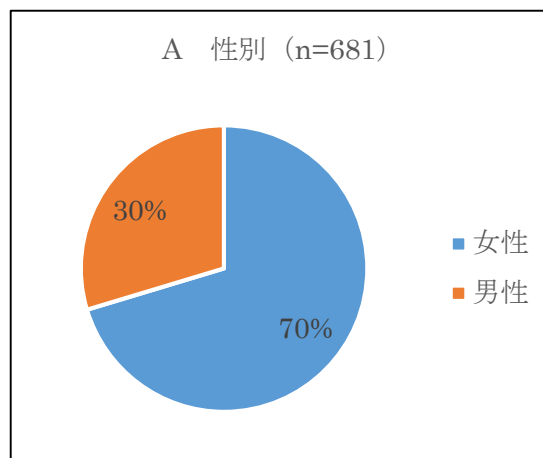
単純集計の方針

以下、すべての設問について項目ごとの回答件数と全体に占める割合を示す。合計が有効回答数の690件に満たない場合、差分は当該設問における無効回答の数である。複数回答可の設問においては、各設問が選択された割合を当該設問の回答者数合計に対して示しているため、割合の合計が100%にならない。

設問A 性別

項目	女性	男性	合計
件数	479	202	681
割合	70%	30%	100%

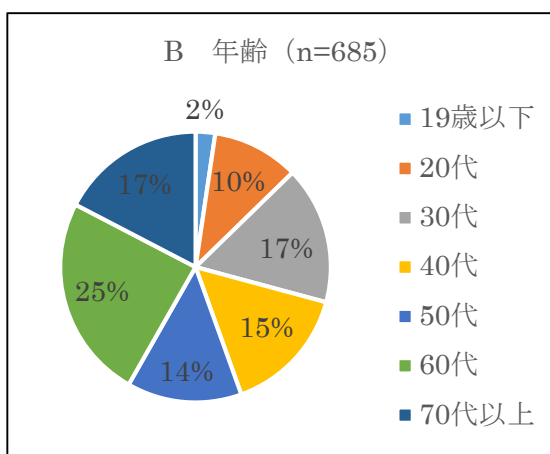
女性が占める割合が高い。女性により構成される女性部員が配布・回収をしたために、回答者が女性部員を含む女性に偏重したと思われる。



設問 B 年齢

項目	19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
件数	16	71	113	105	94	167	119	685
割合	2%	10%	16%	15%	14%	24%	17%	100%

19歳以下の回答者が少ないものの、他の世代については、バランスよく回収されている。

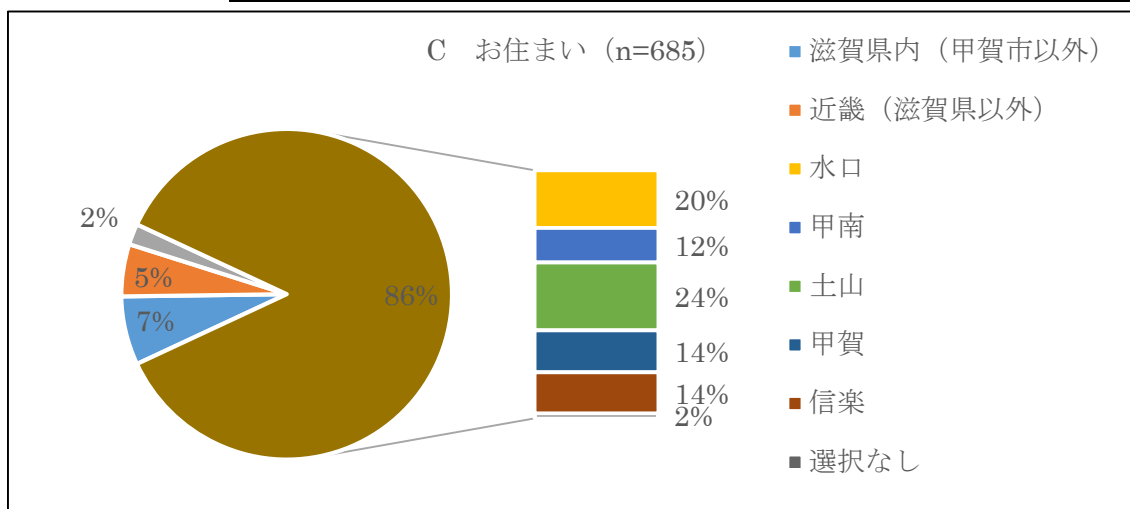


設問 C お住まい

項目	甲賀市内	滋賀県内 (甲賀市以外)	近畿 (滋賀県以外)	その他	合計
件数	590	46	35	14	685
割合	86%	7%	5%	2%	100%

(甲賀市内の内訳)

項目	水口	甲南	土山	甲賀	信楽	不明	合計
件数	137	82	162	100	98	11	590
割合	23%	14%	27%	17%	17%	2%	100%



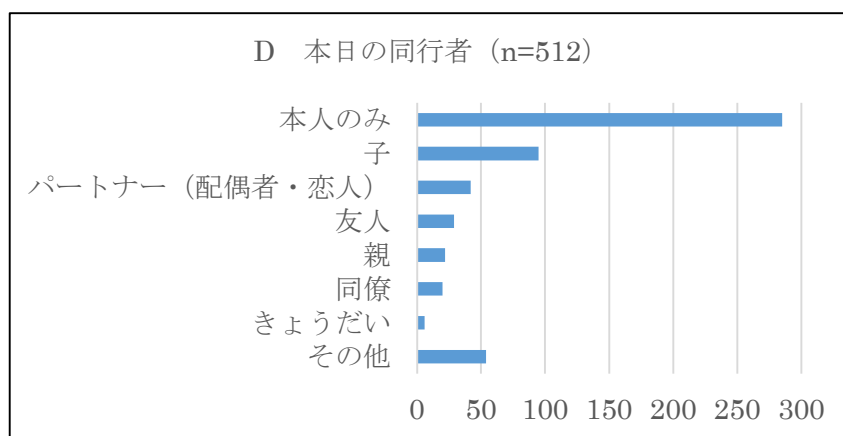
配布方法により、甲賀市内の住民が多い。市内5地区でバランス良く回収されている。

設問 D 本日の同行者

項目	本人のみ	子	パートナー (配偶者・恋人)	友人	親	同僚	きょうだい	その他	回答者数合計
件数	285	95	42	29	22	20	6	54	512
割合	56%	19%	8%	6%	4%	4%	1%	11%	

配布方法により、本人のみが半分以上を占める。イベント等は子連れでの参加が多かった。

「その他」は、職場・団体、上司、孫などがあげられる。

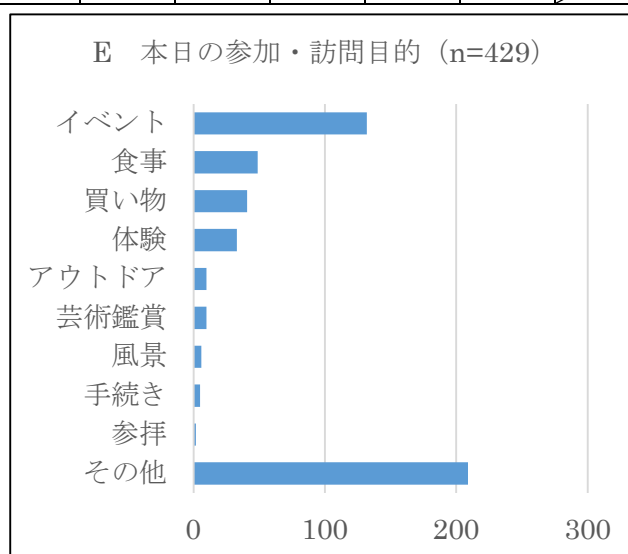


設問 E 本日の参加・訪問目的

項目	イベント	食事	風景	買い物	芸術鑑賞	体験	参拝	アウトドア	手続き	その他	回答者数合計
件数	132	49	6	41	10	33	2	10	5	209	429
割合	31%	11%	1%	10%	2%	8%	0%	2%	1%	49%	

「イベント」は「耐久マラソン」、「赤ちゃんルーム」、「敬老会」、「宿場まつり」「陶器市」、「フラダンス」。「体験」は「健康体操」。「アウトドア」は「ノルディックウォーク」。

「その他」には「美容」、「遊び」、「仕事」、「練習 (稽古)」、「菓の受取」などがある。無回答者が 200 人弱おり、自宅等での回答と思われる。

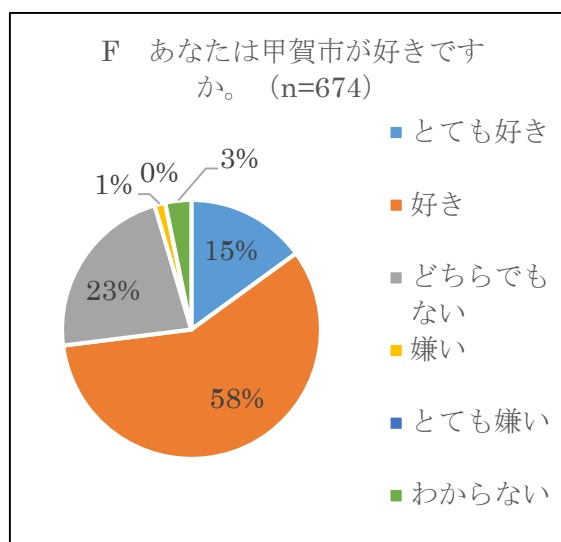


設問 F あなたは甲賀市が好きですか。理由も教えてください。

項目	とても好き	好き	どちらでもない	嫌い	とても嫌い	わからない	合計
件数	101	391	151	9	0	22	674
割合	15%	58%	22%	1%	0%	3%	100%

「とても好き」と「好き」とを合わせると73%であった。「嫌い」は9名(1%)、「とても嫌い」は0名(0%)であり、全体的に甲賀市は回答者から好かれている。

ただし「どちらでもない」と「わからない」が合わせて25%に上っており、これを「好き」へと変えていく方法を模索する必要があるだろう。



<各項目の自由記述欄(理由)抜粋>

①「とても好き」「好き」の理由

住み慣れているから／地元だから／自然がいっぱい／落ち着いた雰囲気／近所付き合いが楽しい／住みやすい／人が温かい／陶芸の町であるから／歴史文化が素晴らしい／忍者がいる／温泉がある／ごちゃごちゃしていない／ゴルフ場が多い／酒がうまい／子ども予算が充実／地場産業がある／災害が少ない／

②「どちらでもない」の理由

商業施設が少なく不便／休みの日に何をしたら良いかわからない／ほかを知らない／中途半端なコンパクトシティ／交通が不便／愛着はあるが学校の古さや公園の少なさに不満／気に入っている場所が無い／愛着がない／嫁いできたため

③「嫌い」の理由

政治が不平等(田舎が放置)／人づきあいがたいへん／過疎化に対する政策が見えない／活気がない／人のことをとやかく言い過ぎる／冠婚葬祭で昔からの風習にとらわれている／役職が多すぎる

④「わからない」の理由

住んでいないため／越してから年月が経っていないため／考えたことがないため

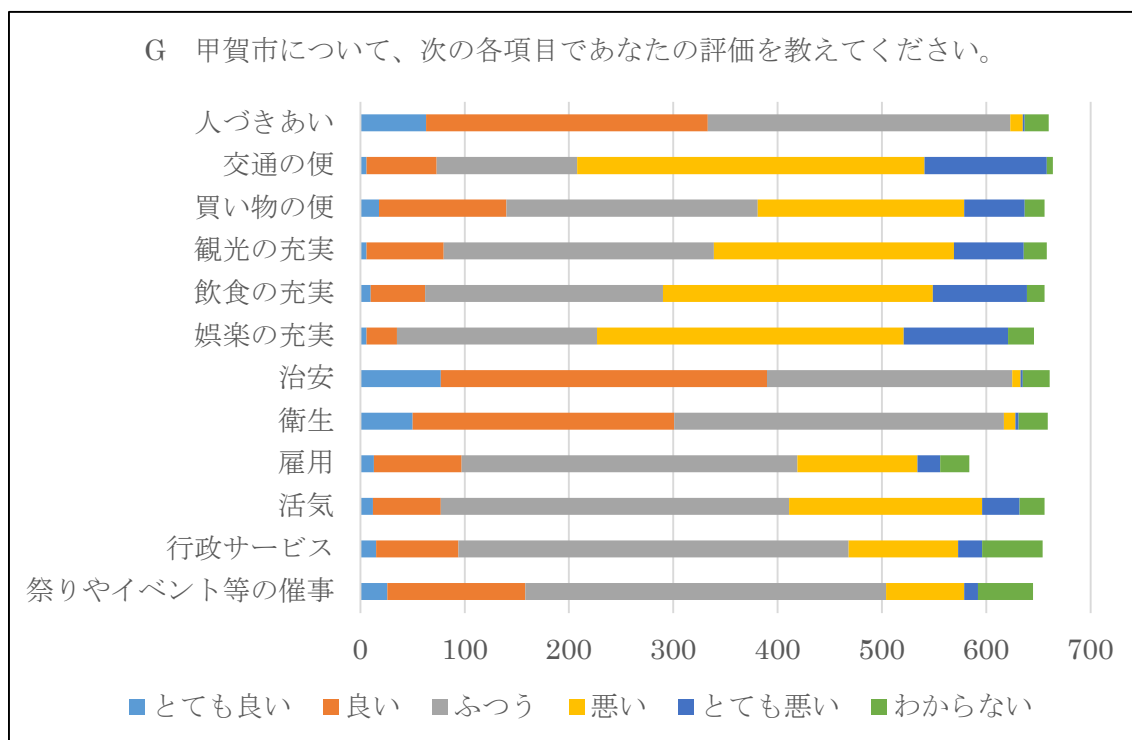
肯定的な理由には「生まれ育ったところだから」という消極的なものが多く、だからこそ、外から嫁いだり越したりしてきた人たちは愛着の形成が困難な様子が見て取れる。

設問 G 甲賀市について、次の各項目であなたの評価を教えてください。

項目	とても良い	良い	ふつう	悪い	とても悪い	わからない
人づきあい	63	270	290	12	2	23
交通の便	6	67	135	333	117	6
買い物の便	18	122	241	198	58	19
観光の充実	6	74	259	230	67	22
飲食の充実	10	52	228	259	90	17
娯楽の充実	6	29	192	294	100	25
治安	77	313	235	8	2	26
衛生	50	251	316	11	3	28
雇用	13	84	322	115	22	28
活気	12	65	334	185	36	24
行政サービス	15	79	374	105	23	58
祭りやイベント等の催事	26	132	346	75	13	53

*1 表は質問紙掲載の順。

*2 各回答に無回答・無効のものがあるため合計数は異なる。そのため、合計に対する割合を記載しなかった。



前述の通り、相対的に、「人づきあい」、「治安」、「衛生」について高い評価、「交通の便」、「買い物の便」、「観光の充実」、「飲食の充実」、「娯楽の充実」について低い評価、「雇用」、「活気」、「行政サービス」、「祭りやイベント等の催事」について中間的な評価であった。ソフト面では充実しているがハード面ではニーズが満たされていないと読み取れる。ただし中間的な評価、つまり「ふつう」が45%～55%であった4項目については、肯定的な評価ではなく「可もなく不可もない」、「興味がない」などといった意味を含みうるため注意が必要である。

本設問の回答は個別回答ごとにクロス集計を掛けることで属性ごとの差が見えたり、他設問の回答との関係性が見えたりする可能性があり、有用である。

以下、設問H、Iは自由記述であるが、本事業の調査において中心的な内容であるため、すべての回答を記載して紹介する。なお、記載にあたっては手書きの回答をそのまま入力しているため、固有名詞においても表記揺れが生じている。■から■までが一人の回答である。

設問H 甲賀市に「あってよかった！」と思うものを教えてください。

■自然文化など誇れるものがたくさんあると思います■・よい自然・よい茶の生産地・歴史を感じる土地柄・人柄の良さ■川と神社、スポーツ施設(体育館・グラウンド等)ゴルフ場■お茶・忍者・旧東海道■・東海道や美しい自然・図書館やホールなど■あいくるバスの便■伝馬館。高齢者施設(特養)あいの土山文化ホール■高間みずべ公園■緑、自然■図書館、トレーニングジム■JRの電車が通っている事■近くに複数のスーパーがある事■スーパードラックストア、甲南インター■新名神が出来良かった■鹿深の森■カフェ・子育て支援センター■子育て支援センター・JAなど野菜直売所■ここもーり■プール・大きな公園・グラウンド・牧場■牧場■ここもーり(支援センター)■子育て支援センター■かふか夢の森やスポーツの森などの公園■子育て支援センター■甲賀支援センター・てるてるパーク■ここもーり■ここもーり・甲賀土山インター■図書館・病院・支援センター・公園■うぐい川(桜がキレイ・蛍がいる)・野洲川でBBQできる・映画館■ここもーり■図書館が充実していて良いと思います・甲南は夜9時まで開いているので(金)■支援センターのサービスが充実している■広いスペースで遊ぶ事ができる子育て支援センター■スタバ■わか

りません■体育館と運動施設■特に思い浮かばない■市民ホール 碧水ホール 水口城 鹿深夢の森■JR草津線・町内のスーパー■鹿深夢の森■甲賀町には草津線がある(公共機関)ので出かけやすい・子育ての施設■ミホ美術館■陶芸の森■MIHO美術館。そこだけがベル別世界のように思われる世界に誇れる。・陶芸の森■無料のパーキング(駅前やスーパー)。・自然、きれいな川。エコステーション。■あまり利用はしていないけれど甲賀市立甲賀病院が出来た事。けれど年齢を重ねると余り広いと院内に入るまでにつかれる。■陶芸の森などの広いスペースのある所では、最近いろいろな企画をされていて、とても楽しいです。今後も行政も交えた企画をされたいのではないかと思います。■図書館・陶芸の森・子育て支援センター■スターバックス■施設…陶芸の森、MIHOミュージアム・場所…田畑、茶畑■スポーツの森■保育園■水口スポーツの森。旧の水口文化芸術会館(現在の名前わすれた為)・運動公園(信楽)・甲賀病院■特になし■自然■図書館■特にない■なし■特にない■自然の山・ミホミュージアム・温泉■ミホミュージアム、陶芸の森■ミホミュージアム■子育て支援センター■なし■支援センター■子育て支援センター 図書館■子育て

て支援センター、児童館、図書館、とんとん山、くぬぎの森■動物病院■各地域の図書館（内容も良い方）■どんな店もあり、とても満足■高速 温泉■高速■公共施設特に芸術関係の充実■なし■新名神があるので車で来るのに利用が出来、せまい道を通らなくてよいところ。■信楽焼 自然■自然 高速■図書館・スポーツの森■紫香楽の宮址・陶芸の森・SKR■特になし■薬を売っているところが多いこと■大型スーパー・コンビニ■陸上競技場・大型スーパー・鉄道網（国鉄・私鉄）■みなくち運動公園・ここも〜り・子育て支援センター■子育て支援センター■陶芸の森・MIHO・大型施設■陶芸の森（県内外から来られる人に）・陶芸の町（信楽をしってもらえ、風景や陶器に楽しんでもらえる）■MIHO MUSEUM■図書館・忍術村・陶芸の森・スポーツの森■陶芸の森■一般的にあるような施設、サービスはある。特別よいと思うものはない。■甲南IC■スポーツの森等、子どもの遊べる場所■スイミング・スポーツジム■新名神・映画■特になし■大型スーパー■病院■平和堂■信楽高原鐵道■映画館、平和堂■旧町ごとにある図書館旧東海道および宿場町であること。■駐車場や車をとめるところが多くある。人付き合いがあっている。米、野菜、お茶農家があるのが良い。■アレックスシネマ水口 ダイヤモンドリゾート 西友■それぞれの業種で3店舗位のメーカー等がある事■イベントホール■第2名神■あいくるバス、観光施設、東海道伝馬館(土山)■甲賀病院行きのバスが出来たこと■娯楽施設（映画館）・遊園地■スポーツの森（スポーツ施設）、図書館等のレジャー施設が充

実してる■高速のインター■高速インター■土山マラソン■映画館■映画館・甲賀スタジアム■特になし■子育て支援■私たちが子育てしている頃とはちがい、とても子育てサービス充実していると思います■子育て支援センター（子育てコンシェルジュ）・鹿深の森公園（ここも〜り・手打てるパーク）■ここも〜り・支援センター・フレマ・ビッグ（安くて買いやすい）■温泉施設・子育て支援センターなどの施設■公園・子育て支援センター■甲南に商業施設が出来たので、買い物がしやすくなった。甲南IC・甲賀土山ICが出来たので、関西、関東と共に行きやすくなった。■支援センターがあり子どもが自由に遊べるし良い■忍術の里・成田牧場・子育て支援センター■穏やかで自然豊かで水が美味しい。今のままで十分です。■支援センター・かふかの森の公園■子育て支援施設（支援センター・ここも〜り）・忍術屋敷・医療費の助成■地域でのイベントや昔ながらの行事があり、今まで体験したことのない事が多い■子育て支援センター■スーパー・電気屋■スポーツの森・平和堂・西友（スーパー）■買い物、映画館等は充実している。信楽は地元のものでも行くと楽しい場所が多い。（カフェ・陶器作り）■かふかの森・スタバ■信楽焼（全国的な知名度がある）・田村神社（参拝者の多さでは管区的にポイントあり）・新名神、SA、インターチェンジが近い■無印良品■茶畑■小児内科クリニック・子育て支援センター■子育て支援センター・育児支援制度・活動■映画館・大きい公園■支援センター・かふか・スポモリ公園■子育て支援センター■ここも〜り・てるてるパー

ク・子育て支援センター・にこにこ園■市民センターが近くに出来た■スポーツ、文化（図書館）施設・大店舗・コミュニティバス■図書館・介護施設・文化ホール■高速道路インター■たくさんの自然・飲食店■手つかずの自然■あいこうか市民ホール・土山サービスエリア■信楽焼・新名神・工業団地■映画館・大型スーパー■市民ホール・スポーツセンター（Well.Be.）・映画館（アレックスシネマ）■スーパーマーケット・ホームセンター・新築の市役所・水口温泉つばきの湯・カーブス■つばきの湯・図書館・甲南インター■甲賀駅■総合病院、運転免許が取れる自動車教習所、スポーツの森■市民ホール、へいすいホール、さきらなど？■市民ホールやイベントをすところ■スポーツ施設、スポーツの森■平和堂■映画館■映画館、東海道、国道1号線、新名神、城山■祭りやイベントがあって子どもも参加出来る様なものが多いのでいいなと思います。■東海道、信楽焼き、忍者、鈴鹿山脈■自然（茶畑など）特に土山町の茶刈前のパイロットの風景は素晴らしい■ダイヤモンド滋賀、ホテルレイクビラ、田村神社■特になし■高速道路が便利■図書館、複合商業施設■豊かな自然、お茶、近江米の産地、信楽焼き■高速道路インター■茶■土山IC■送迎付きの病院■道の駅、温泉施設■新名神のIC■甲賀スタジアム、巡回バス、新名神インター■JR ■高速道路、駅、忍者■東海道五十三次■大型量販店など買い物には（日常の）困りません■JR草津線の駅、水口乗場クラブ、紫香楽陶芸の街、土山青土ダム、お肉の山村■忍術屋敷、ミホミュージアム■新名神甲南インター■新名

神甲南インター■高速道路のインター■スポーツの森 利用方法などわかりやすくもって活気があればいいと思う。■ビワ湖博物館■地域総合型スポーツクラブ、気軽に身体を動かせ運動出来心身共に健康でいられる。■図書館 サラダ館■フレンド마트とビックがある所■温泉■温泉■スーパー 病院 各種学校■教育、特に岡田真子先生の特別支援■スターバックス 信楽焼■甲賀市をよく理解していない■図書館（市で関係されてい r て便利がよい）■忍術屋敷 里山 スポーツの森 図書館■“つばきの湯”皆さん多いに利用されているように思われます。いろいろと場所はあるのでしょうが活用されている方が利用のように思います。もっと皆なの身近なものとして利用されている方からのアピールや出入りしやすいようにされては。■歴史■ゴルフ場、陶芸の森、たちばな、あいこうか華子やぼんぼんの湯、葉隠れ、100歳体操■業務用スーパー、ハズイ、西友■スタバ■四季彩たちばな、甲賀病院、新名神インター■四季彩たちばな、甲賀病院、貴生川駅、やっぼんぼんの湯、ゴルフ場、新名神インター■たちばな、スターバックス、マクドナルド■甲賀スタジアム■ホール■他に誇れるような伝統的な物（産物や芸能）■介護施設が多い■まるふく、てるてるパーク■岡山城■東海道、水口城、忍者■四季彩たちばな、湖南飯店 味好 平和堂■忍者 ゴルフ場■特になし■スターバックス■忍者屋敷 つばきの湯 甲賀スタジアム■大・小の病院。スポーツの森 競技場（サッカー、野球、陸上） 量販店■支援センター（以前住んでた高石市には無かったので） スポ森等の広い公園■スタ

ーボックス、映画館、信楽焼 新名神高速道路インター■信楽焼き、映画館、草津線、市民ホール■映画館、草津線■サービスエリア 神社■特になし。■スポーツの森■図書館、陶芸の森、飯道山、映画館、JA直売所、IC、スタバ■映画館、JR線、忍者。■図書館、映画館 自然 祭り 歴史 ■信楽図書館■体育館での運動相談（スポーツ指導員による）■子育て支えんセンター■公園■公園、スポーツの森■京都に住んでいたのに余り施設については思いあたりませんが自然と水がおいしいのがうれしい■特になし■やっぽんぽんの湯■のんびりとした雰囲気■温泉施設、大型商業施設■高速道路のインターチェンジ、豊かな自然■新名神■安価なテニスコート■鹿深夢の森■20年前には土山図書館、今は信楽という伝統産業&観光地■温泉■温泉■高速出入口■総合娯楽施設、総合病院■忍者とかPRしていけるもの、土山はもっと考えないと■体育館などの利用が出来いろいろなイベント（ヨガ、体操）に参加できる事又会費も主夫にやさしくうれしいです。■櫛野寺、油日神社■野洲川、古城山■お

いしい空気■自然の良さ■24時間のジム■ゴルフ場■水口岡山城 東海道■平和堂がたくさん!!■わからない■土山の大自然 甲賀のもち■みなくち子どもの森■社寺、里山、忍術屋敷■図書館、ここもうり■かふかの夢の森 子供が小さい時はよく利用しました。時々通ると土、日にはたくさんの方がいます。■国道1号線 水口スポーツの森■ここもうり スポーツの森 こどもの森 城跡■・スポーツの森・駅・夢の森■高速道路、インターチェンジ、鉄道■新名神高速■あいこうか市民ホール■国道1号線、貴生川駅■温泉施設■温泉■グラウンドゴルフ場やゴルフ場が多いので良い。■人の良さ■あいこうか市民ホール■特になし■陶芸の森■お寺と仏像、陶芸の森■健康診断■大型ショッピングモール■エーデルとか触れ合う所、訪問介護とか■ダイヤモンドリゾート（やっぽんぽん）■介護施設■電車、バス■市、子供イベント■忍者屋敷■忍者関係のしせつ■特に■忍者屋敷■まだわかりません。■ここしか知らないので分からない■忍者屋敷■忍術の村■おんせん■忍術村■忍術村■忍者■

設問1 甲賀市に「あったらいいのに！」と思うものを教えてください。

■(観光に来られた方の)飲食できる場所が少ない、移動手段がない(バスの便が少ない)(土山)市役所の(場所の)有効活用■「あったらいいのに」を考えていると「なかったらいいのに」と思うものがある。平和堂 exc 全国どこにいても、同じ店がありがっかりする。■「道の駅」の充実。特産品をもっと表に出してみては？■・誰でも自由に使える体育館・遊園地・競艇場■・もっと日常生活に運動(ラジオ体操・ウォーキングなど)を取り入れるような企画・取組を市全体で!!・カフェ■100均、ドンキホーテ■三雲とか日野方面へは土山からとても便利が悪いので何とかならないのかといつも思ってます■COSTOCO(コストコ)・IKEA(イケア)・子供の遊べる施設をもっと増やして欲しい■JR草津線が単線ではなくなれば、より甲賀市に住む人も増えると思います■JRで都心まで行ける。15分に1本の連絡■JR東海道(R1ぞいの)、首都機能移転■JRと接続したバス■JR複線■アーケードの再現■アウトレット、イオン■アウトレット、空港■アウトレット・遊園地■赤ちゃん連れでランチを食べる所■アスレチックな所■遊ぶ所(子どもと)■あまり不便を感じていないが移動時、病気をした時のタクシーやコミュニティバスを充実してほしい■イオンモール■イオンモール■イオンモール■イオンモール・コストコ・アウトレット■いつでも乗り換えなしで京都、大阪へ直接行ける鉄道■イベント時の駐車場(1000台)■イベントホール屋施設■今は車で移動できるので、あまり不便を感じないが、

今後高齢化が増々進めば、交通の便が悪すぎると感じる。■飲食店 イオンモール■飲食店 娯楽 施設■飲食店、ランチの出来る店■飲食店の充実、大型ショッピングセンター■駅(土山)■駅・大型商業施設■駅の自動改札 ドン・キホーテ 駅前の充実感■駅ビル。信楽→貴生川駅へのアクセス(高原鉄道の時間のあいだにコミュニティバスの運行など、現在よりも貴生川JRの駅に行きやすくなるサービス)■駅前の駐車場、町中の公共トイレ■おいしいケーキ屋さん・おしゃれな cafe・デパート・イオンモール■おいしいコーヒー店 個人図書館(ゆったり調べ物やくつろげる場所)■おいしい食事の出来る所■大型商業施設■大型商業施設■大型ショッピングセンター■大型ショッピングセンター、駅(土山)■大型ショッピングセンター、電車(土山)■大型ショッピングモール・飲食店(子供と行ける)■大型ショッピングモール・子供が遊べる場所■大型書店、飲食店(少ない)■大型の公園、ピクニックやキャンプ場 etc■大型のスーパー・雨天に使える広い公園・忍者を発信する施設■大きい公園(行きやすい所)平和堂以外の食品スーパー(新鮮なお魚などが置いてる)室内で体を動かせる施設■大きいショッピングセンター、飲食店■大きいホテルなどイベントができる所■大きな芸術会館(コンサート会場)・飲食店(数が少ない)■大きな商業施設■大きなショッピングモール・遊園地■大きなスーパー(イオンモール)■大きな体育館・スポーツ施設(屋外用)■大きな図書館、ショッピング

モール、電波塔■多くの市民が憩える公園・公式競技が可能な屋内競技場・商店街■大規模商業施設■オートキャンプ場、飲食店、釣り場■屋外型の遊び場の他に屋内型の死せすつ画をもっと増やして欲しい(てるてるパークのもっと大きなもの)・道の駅を大きくして、甲賀市全体の出品が出来るものを作ってはどうか。■遅れない止まらない草津線、ちゃんとした通学路(自転車も含む)■お食事所■おっきいショッピングモール■お年寄り対象に送迎付きで公民館等でおしゃべりの会や歌を歌う会を週1くらいでして欲しい！お年よりの人口が増えデイサービスに行くほどのことはないが交通手段なく家にいるお年よりも多いと思うので送迎付きで話したり歌を歌ったり出来る会があればお年寄りが元気になると思います。■温泉■おんせん■おんせん■温泉 イオンモール■温泉があり、美味しい食事があるのんびり時間を過ごせる場所でリーズナブルでもある施設■温泉施設、ショッピングセンター、観光スポット■カーブス(2コ以上)■介護施設■介護施設(安く入れる所)■介護施設、割安で入れる所■介護施設がもっとじゅ実してたらいいなあ 数ももう少しあるところ■買い物ができる場所■買い物の場所・住宅・飲食場所■核となる商業施設、鉄道の大きな駅と併設した施設。■家族で1日十分楽しめる施設が欲しい。もっと忍術村に遊具の設置とか飲食等あり1日遊んでいられるように。忍者、忍者と市長は言うが大して生かされていない。忍術屋敷での説明をもっとユーモアと外国人向けの言語で話出来る人も必要。老人が外に出て沢山野人と話が出来、食事の出来る施設が必要。老人が

気軽にに行ける、楽しめる、一日中居られる。そんな場所を！老人を孤独死させたらあかん。他県から注目されているござれ江州の復活。■画期的なBBQ施設、アスレチック等、自然を楽しめる施設。■カフェ■カフェ、居酒屋など飲食店。娯楽施設、子供たちが遊べる公園。■かふかの夢の森にコンビニのような何か食べる物が売っている所■観劇施設■観光地ももっと■観光できるところをもっとPRがあってもいいと思う。■気軽にできる食事の場所■季節の花が美しい公園、植物園■行列の出来る店、遠方からでも訪れようと思う施設(テーマパークや観光地)■近年人口も減少していて今ある施設を利用していただきいろんないべんとをしてほしいです。■空港■空港・遊園地■草津、南草津などから無料のシャトルバス■草津イオンのような大型ショッピングセンター、百貨店、電車の数が増えて欲しい、コストコ、イケア、ご飯屋さんが集まっている所(夜でも歩いてお店を変えられる場所)■果物■クラブハリエ・コストコ■県外からも呼び込めるアウトドア施設■公園■公園 子どもの遊ぶ遊具が消えています(あったものがなくなり悲しいです) 電車■公園(外で気軽に子どもが遊べる所がほしい)(すべり台、ブランコ、砂場、走るスペースetc)■公園、信楽にはないので保育園児も行ける支援センター 各町単位で子どもの健診 注射の案内■公園・大きなショッピングモール、アウトレットなど・動物園・水族館■公園・屋内児童館・トイレ■公園・お魚屋さんが充実しているスーパー・室内の遊び場・外食出来るお店■講演会やパーティなどができるホテル 収容人数200人程度入

れる施設■甲賀市というか、信楽町に商業施設（特に生鮮飲食物）がすくないので困っている。せめて1軒あれば、ありがたい…■甲賀市というわけではないですが、子供が遊べる少し遊具のある公園、著と↓ものが返る小さなお店が近くにあったら…と思います。■甲賀市にあった“鹿深の湯”が無くなり残念…。(高齢者専用の入浴施設があったらなあーと) 幼児が病気の時保育園のように預けられる場所（園）があれば親は安心して仕事に行けるのでは…。

(子育て一環では) 女性部でそれぞれの町の傾聴があればなーといつも思っています。■甲賀市の事を把握出来ていないので良くわからない■甲賀市の歴史や文化を生かしたアクティビティ。例えばラフティングでもっと体験型になった忍者村等。大阪、京都と名古屋方面の移動客も狙った宿泊施設■甲賀に包括の支援センターができたが、各地域の子育て支援センターも充実して欲しい。サントピア水口横の橋の下の水辺（公園）が利用されていなくて奉仕されているのは、もったいない。折角良い所が有るのに整備して子ども達が安全に遊べるようにしてはどうかといつも思う。甲賀市内には折角整備された良い所があるので、作ってそのまま放置されている所が多々あるので、どんどん新しい所を作るだけでなく、元々ある所をキレイにして再利用することも考えて欲しい。■甲賀流忍者のアピール（伊賀市に比べると低い）■公共交通の充実 車でないと動けない■公共交通の利便性も考えミニバス運行、特に信楽から朝宮経由石山行きを増便大石までの増便、朝2便昼前後2便、夕方夜遅く2便有れば■公共の路偉人施設■公衆トイレ■交通の

便がもっと良かったらと思います■公的なプール施設・小さな個人商店、商店街■甲南町にもにこにこ園がほしい・子連れで気軽にランチなど楽しめる所・雨の日でも遊べる場所（飲食や買いものも一緒にできるとうれしい）■高齢社会に伴い通院が困難な方々が増えていくので在宅での医療を充実出来るサービス（薬剤師の在宅訪問）の案内サービスや明日の本数の充実。タクシー料金の値下げ■コープのお店、調理や火を使った行事の出来る自然体験施設（子どもの森のような所がよいが火がNGなので）■ここもーりに屋根付の駐車場■こじやれたショットバー おいしいもつ焼き屋■個人サービス店■コストコ■コストコ、イオンモール、アウトレット、信楽センターのちかくにほしい■コストコ、草津線複線、草津線が動かない時のほかの交通手段（草津までのバス運行など）■コストコ・飲食店■コストコ・公園・ららぽーと・IKEA・専門医院・自転車のレーン・防犯カメラ・歩道・街灯■コストコなど大型商業施設■コストコのような大きなスーパー■コストコをつくってほしい トライアルをつくってほしい■子育て世代の移住に対する補助、リフォーム代・借り入れ代、土山（電車がなから車をもつにあたっての補助）■子供及び幼児の遊技施設とか娯楽施設年齢に広じた。■子供があそびやすい広い公園■子供が安心して遊べる公園や自然と触れ合える場所 自然の中にいながら自由に歩き回れないあぶない■子どもが安全に自由に遊べる施設がもっとあれば嬉しい。子どもが遊べるスペース（おもちゃあり）がある飲食店（さわいでもOKな店）がもっとあればいい。・足湯があれば

とても嬉しい。(無料で) ■子どもが外で遊べる場所(砂場、水遊び…) 公園・通学バス ■子供たちが元気で遊べる場所の確保をお願いしたい 若い人の働く場所の確保(大きな企業の誘致) ■子ども達が楽しめる所が少ないので考えてほしい。 ■子ども達の遊び場、高齢者の遊び場、若い人の働く場所 ■子ども連れでも気兼ねなく行ける飲食店 ■子供の遊べる施設(特に0~3才くらいの子) ■子供の遊園地的なもの ■娯楽施設・鉄道・甲賀市の中でも土山町は何かにつけて不便 ■コンサート会場、バッティングセンター、電車の本数 ■栄えている場所以外にも飲食店がもう少しあればいいなと思います ■産後ケアセンター・子連れで飲食できる場所・雨がかからない駐車場の施設 ■産婦人科・雨天でも遊べる施設 ■市営温水プール、ラーメン横町、ライブハウス ■市外の人を甲賀市の観光に連れて行く所が少ない ■市が運営する一人暮らしなどの老人世帯などへの配色サービス(有料)・他県の人に来てもらえるような魅力のある観光名所を作って欲しい。 ■鹿深の森にここも〜りができて沢山の人が来られます。飲食の充実を図ってもらいたい(コンビニ・パン屋さん・Cafeなど) ■信楽に飲食店、スーパー ■信楽におしゃれなカフェ、陶器のお店・平日でもあいている店。オススメは?と聞かれてすぐ思い浮かぶ店も場所ない。 ■信楽に公園がほしい。(長野)・ギネスにチャレンジ!! (ろくろとか) ■信楽にトイレを!! 飲食店をもっと!! ■信楽町に買い物する所がもう少しほしい。高齢化してきているので活気がないので若い世代の人住みやすい環境にしていくべき。 ■時間に関係なくバスが走って

いる事 ■仕事 ■仕事場 ■施設 ■自然が大井野で、自然を取り入れた大型湯具・アスレチックなど、大人も子供も遊べる所 ■室内おもちゃなどで遊べる所、有料でも。子連れ可のサロン(カフェや遊具ありの) ■室内で遊ぶ公園みたいな・イオン ■室内テニスコート ■耳鼻科・道の駅 ■市民が集まれる総合的公園 ■市民の高い意識 ■地元 FM局 ■宿泊施設、飲食店、特産品、名物 ■趣味的なことが出来たり、皆が気軽に集える場所 ■商店街があるといいと思う。 ■商店がいがあれば良いと思う 観光コースなど充実させて町に活気が有り楽しめる町になれるといいな ■小児科(信楽に) ■ショッピングモール ■ショッピングモール、スポーツセンター ■ショッピングモール、ラウンド1, ファミレス、マクドナルド、ドライブスルー、デリバリー、カラオケ、プール etc ■深夜営業の飲食店・電車の本数 ■スーパーが少ない。大きな商業施設のようなものがあれば目かかりそう。 ■スーパーや個人商店、閉店街が多い ■スケート場 ■スケート場・ボウリング場・アスレチック・ロッククライミング等体験出来る場所・子どもの遊び場 ■スライダー付きプール ■せっかく自然が多いので公園等にもっと遊具があるといい。ブランコなどは、一般的な形のものだけでなく、より低年齢の子どもが使える形のものもあるようなので、より小さい子も遊べる外の遊具があるといい。 ■総合体育館 ■総合体育館 ■それをうまくアピール出来る方法。施設だけでなくイベントや街としての取組み ■体育館(イベント可能な) ■大学(新名神経由での JR 琵琶湖線沿線駅とを結ぶ路線バスを。) ■大学、JR 複線化 ■大学校・国省

庁・リニア■高原鉄道、草津線の本数を増やして欲しい■タクシーの常設。土山（中心部以外）等に印刷や折機などコピーなど自由に使えるところ。観光に来た人達の簡単なB.B（朝食ベット）空家対策？■他所の人に自慢出来る様な場所■食べる所■誰でも行ける自動感がない。一応「児童館」と名のつく建物はありますが、会館の中のせまい一つの部屋があるだけ。ここも〜りは小学生以上は行けない。図書館のような広い建物で遊ぶものもある、誰でも行ける場所が欲しい■治安が良く、才画の少ないこの土地で十分です。ただし公共交通機関を充分にして欲しい■小さい子どもも一緒に出かけられる場所・食事ができる場所があればいいと思います■中・高校生が自主勉強ができるスペース■使っていない公園を駐車場にしたらいと思います。■土山町在住しています 私はバスを利用していますが土山町白川上り下りバス停はあっても屋根がなく雨とか天気の悪い日は大変こまります是非小さなので結構です 年齢も重ねていますのでバスを待つ間は大変です（外の駅は、たいてい雨がしのげる様になっています）■土山町に限ってだけど、電車の駅■土山にガソリンスタンド■土山に小さい子どもが遊べるアスレチック広場が欲しい。子どもと行きやすい遊び場が欲しい。■土山にランチができる場所が欲しい■定期バス・子連れで行ける飲食店（主人が居ないと行けないので）・コンビニ■テーマパーク、リニアの駅■鉄道■デパート■天気が悪い時に室内で遊べる施設があるといい。児童館があるといいなあ。■電車（土山方面）・ラウンドワン・ポーリング場■電車、レストラン■電車が一号線沿いには

しかった もっと飲食店があってほしい■電車の駅■電車の本数、場数の本数、四条通り（河原町的な）■電車の本数がもっと多ければいいと思う・中学卒業まで医療費が無料になってほしい■トイレ特に信楽、飲食店が少ないです。■トイレ不足 食事する場所が少ない■東海道50番目の宿場町の整備と、観光にともなう駐車場（観光バス用） 草津線の複線化■同上■動物病院■ドーム等のフリースペース■特産品、観光地■特に今思いつきません。■特になし■特になし■特になし■特になし■特になし■図書館に喫茶店を併設・休憩所（憩いの場所）の充実■年をとって、車などの移動が難しくなった時、かわりに運んでもらえるサービスがあれば若年運転にしがみつ়く必要がなく、安全でありがたい。■止まらない遅れない草津線（自動改札導入よりも停止した時の代替運転を考えてほしい）公共交通網、大学もしくは専門学校、道路の街灯（地域部）■撮りよりが参加できる所（土山）■ドンキホーテ（バラエティショップの代替にもなるので）■なし■奈良健康ランドのような施設、雨の日でも子どもと遊べる空間■忍者関連サービス■忍者の資料館■忍者のテーマ館■忍術体験施設 グリーンツーリズム村（宿泊可）■発達専門医師がいる病院・子育てカフェ（多め）■バッティングセンター■バッティングセンター■パワースポット（観光できる）■美術館■人が集まれる場所が少ない■一言に甲賀市といわれても中心部へのアンケートのように思われます、周辺部地域は交通、医療、学校、買い物、行政サービスすべて問題が山積みです。■百貨店、ちょっと雰囲気のある飲食店、温泉■病院

(小児科)・休憩して座る場所がなかった。■プラネタリウム・雨水タンク設置の補助制度・木の遊具で遊べる支援センターが増えてほしいです。■ブルーメの丘のような親子でたのしめて、お野菜も買え、ランチも出きる施設■ふるさと納税、観光名所、アウトレット■文化的な施設・学べる場所・農業を教えてくれる所■別にありません■別にない■便利な交通機関■保育園、学校の環境がまだまだだと思います・冷暖房、WC,運動用具、保育園もせまくて可愛そうに思います■保育園の充実・託児付の職場・一時保育の料金値下げ、予約のしやすさ■ボーリング場■ボーリング場■ほかの観光施設■他の観光施設■本屋さん■町中に子供たちが安心して遊べる公園がない■松阪市の公園に行ったことがあり、屋外・屋内共に充実したものでした。子供たちも何度も行きたいと言います。雨の日も楽しめる施設、サービスがあればいいなと思います。■祭りやイベントは、小さなものばかり多くあり、大きな集客の全国規模ぐらいのイベントがない。・市内の有名人がいかに。・観光は住む人によって発展する方が良くどうか分からない。■漫画喫茶、カフェ、初めての子育ての親子向けにしょくじそうだんや子どもが同月齢位のママ達が情報交換できるようなイベント(離乳食や播つく相談できるように保健師さんも同席で)■マンション。■水口以外にももう少し飲食店があれば良いと思います。■水口スポーツの森にある、甲賀市民スタジアム(野球場)で正式な公式戦が出来、プロ野球もよべる球場であれば良いと思います。■道の駅■道の駅■道の駅(地域の産物等販売所) 食事する所 宿泊場

所 忍者に関する施設■道の駅のようなもの、ちょっとおしゃれな飲食店■道の駅をもう一つ(こだわり、特徴のあるもの)■緑あふれる市なので、"〇〇ファーム"的な施設があるといいかも。■水口町に商業施設が集まっているので、他町にも分散できたらいいのと思います。新しい保育園■水口にもてるてるパークの様な屋内施設、大きな体育館■昔のように(農業)百姓で生活出来る地であれば!■無料駐車場■無料バス(市内を巡る)1時間に一本ぐらい・「だんらん」が楽しめる場所(近く)■もう少し充実した診療科があればいいと思います。スーパーもあればいいと思います。■もっと観光客を呼ぶ場所、PRの力を■もっと公共交通キカン■もっと忍者のものと■焼き肉点ばかり等で、もっとちがう飲食店があればいい■野菜や果物など新鮮なものが食べられるレストラン・焼きたてのパン屋■屋根付きの総合公園、市立体育館、遊ぶところ(大人・子供)■遊園地、テーマパーク■幼稚園(公立)があればいいなあとと思います。■ライブハウス■ライブハウス■ラウンドワンのような娯楽施設。施設の整った体育館(人をよべる様な。プロが試合できる様な) 岡山城(城山の上に) 整備されてもっと人が来れる忍者村、その周辺にみやげ物店。■ラウンドワンのような複合娯楽施設・市民が自由に借りられる音楽やスポーツの練習施設■ランチの美味しい店、駐車所の使いやすさ■利便性の良い公共交通機関があれば良い■旅館■歴史的価値はあるのに再現されることなく、周知もあまりされていない史跡が多いのではないかと、もっと歴史的財産が多いと思われる甲賀市の財産として活

用できたらいいと思う■老健施設、飲食店
 ■ろてんぶろ■若い人の遊び場■若者が集
 う場所（自由に）・郊外施設・各駅前の交
 通や店舗等の活気■若者が集える娯楽施
 設、朝早くや深夜でも利用できる交通手段

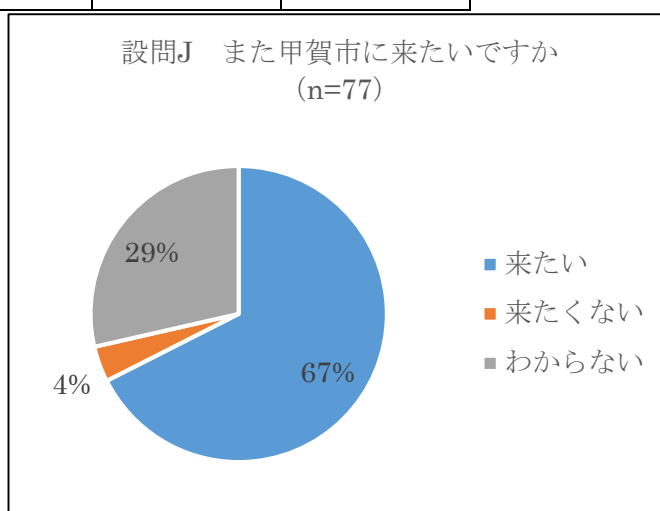
■わからない■わかりません。■城、空
 港、新快速■大型体育館（野洲市の様なも
 の）・郊外でのタクシーが少ないので増や
 す様にして欲しい■

設問J また甲賀市に来たいですか。

項目	来たい	来たくない	わからない	合計
件数	52	3	22	77
割合	68%	4%	29%	100%

本設問は「甲賀市外の方」に
 限定しているため、設問Cで
 「甲賀市」と答えた590名を除
 く100名への設問である。設問
 Cで「甲賀市」と答えた人が本
 設問に答えていたものは集計か
 ら除き、100名中、回答のあっ
 た77名分を集計した。

「来たくない」という否定的な
 回答は3件（4%）に留まったた
 め、リピーターの確保が期待でき
 る。



<各項目の自由記述欄（理由）抜粋>

①「来たい」の理由

実家がある／落ち着く／田舎が良い／子どもを育てるのには良い環境／仕事がある
 ／また忍術をしたい／次回は陶芸体験をしたい

②「来たくない」の理由

忍術村以外なにもない

③「わからない」の理由

可もなく不可もない／用があれば／来たばかりなのでわからない

Ⅲ-2 調査結果（クロス集計）

クロス集計の方針

本事業においてクロス集計は「5件程度まで」をコーディネーターが行い報告書に記載することになっている。第2回未来創造委員会において、女性部員が考えるクロス集計すべき項目が5つあったが、そのうち、設問 H, I に関するものは事前に選択肢が分類されていないため困難である。そこで、次の5件をクロス集計し、その結果を以下に記す。

- 女性部員が考えたもの
 1. 設問 C「お住まい」と設問 E「買い物」
 2. 設問 C「お住まい」と設問 G「交通の便」
 3. 設問 C「お住まい」と設問 G「行政サービス」
- コーディネーターが選択したもの
 4. 設問 C「お住まい」と設問 F「甲賀市を好きか」
 5. 設問 G「人づきあい」と設問 F「甲賀市を好きか」

クロス集計を行い、属性ごとに回答に差が見られたとき、その差が統計的に有意かどうかを判断するためにカイ二乗検定により p 値を出す方法が広く知られている。ただし、今回の調査結果ではクロス集計を行うと該当件数が 0 となる項目や 5 以下の小さな数になるものが多く、検定の有効性が疑われるため、これを行わない。

クロス集計① 設問 C「お住まい」と設問 E「買い物」

女性部員が回答者の居住地域が「甲賀市かどうか」が、買い物に来るかどうかの違いで重要だと考えたために選ばれた。そこで、690 件のうち設問 C「お住まい」で、無効の 5 件を除き、居住地域を「甲賀市内」の 590 件と、それ以外の 95 件にわけた上で、設問 E「本日の参加・訪問目的」で「買い物」を選択しているかどうかをクロス集計で示す。

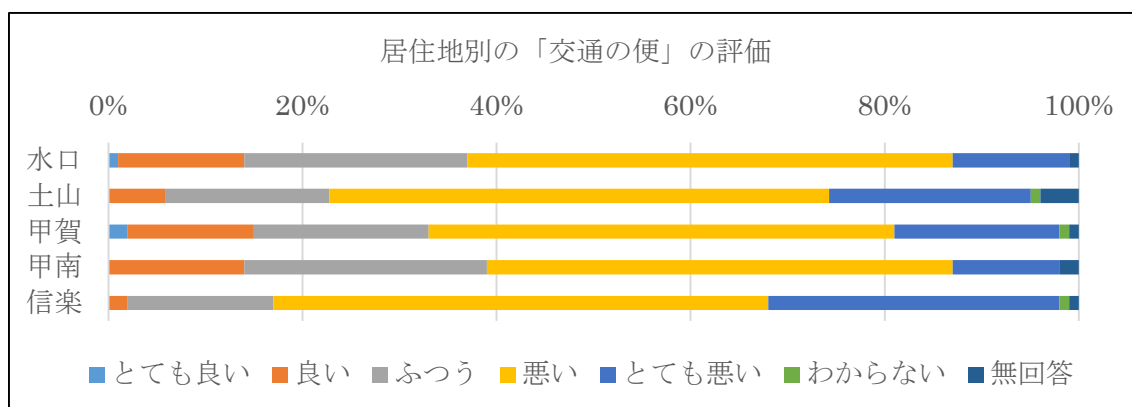
		参加・訪問目的「買い物」		
		選択した	選択せず	総計
居住地域	市外	10	85	95
		11%	89%	100%
	市内	31	559	590
		5%	95%	100%
	総計	41	644	685
		6%	94%	100%

表を見ると、女性部員の仮説のとおり、市外の回答者は、市内の回答者に比べて「買い物」を理由としてあげる割合が 2 倍以上であるが、設問 E で「買い物」を選んだ回答者が全体の 6%に過ぎず、仮に有意な差であった場合にも、事業として結びつけるには難しい設問であったと言える。

クロス集計② 設問C「お住まい」と設問G「交通の便」

女性部員が回答者の居住地域が「甲賀市の旧5町のうちいずれか」によって、「交通の便」についての評価が異なると考えたものである。そのため、設問Cで「甲賀市」を選んだ590件のうち、旧5町のいずれかを選択している578件について、設問G「交通の便」の評価がどうであるかをクロス集計で示す。

		交通の便							総計
		とても良い	良い	ふつう	悪い	とても悪い	わからない	無回答	
居住地域	水口	1	18	32	68	16	0	2	137
		1%	13%	23%	50%	12%	0%	1%	100%
	土山	0	9	27	85	34	1	6	162
		0%	6%	17%	52%	21%	1%	4%	100%
	甲賀	2	13	18	48	17	1	1	100
		2%	13%	18%	48%	17%	1%	1%	100%
	甲南	0	11	20	39	9	0	2	81
		0%	14%	25%	48%	11%	0%	2%	100%
	信楽	0	2	15	50	29	1	1	98
		0%	2%	15%	51%	30%	1%	1%	100%
	総計	3	53	112	290	105	3	12	578
		1%	9%	19%	50%	18%	1%	2%	100%

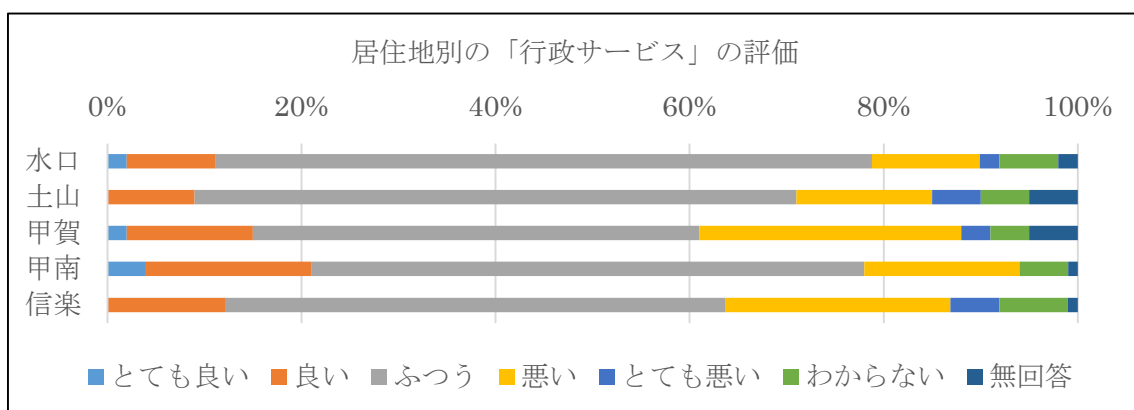


表とグラフを見ると、女性部員の仮説のとおり、市内のどの地区に住んでいるかが「交通の便」の評価を大きく分けているように見うけられる。信楽では「交通の便」について、「悪い」と「とても悪い」を合わせると8割を超える。甲南と水口では回答にほとんど差がなく、両地区は市内では相対的に交通の便が良いと言える。

クロス集計③ 設問 C「お住まい」と設問 G「行政サービス」

女性部員が回答者の居住地が「甲賀市の旧 5 町のうちいずれか」によって、「行政サービス」についての評価が異なると考えたものである。そのため、設問 C で「甲賀市」を選んだ 590 件のうち、旧 5 町のいずれかを選択している 578 件について、設問 G「行政サービス」の評価がどうかをクロス集計で示す。

		行政サービス							総計
		とても良い	良い	ふつう	悪い	とても悪い	わからない	無回答	
居住地	水口	3	13	92	15	3	8	3	137
		2%	9%	67%	11%	2%	6%	2%	100%
	土山	0	15	100	23	8	8	8	162
		0%	9%	62%	14%	5%	5%	5%	100%
	甲賀	2	13	46	27	3	4	5	100
		2%	13%	46%	27%	3%	4%	5%	100%
	甲南	3	14	46	13	0	4	1	81
		4%	17%	57%	16%	0%	5%	1%	100%
	信楽	0	12	50	23	5	7	1	98
		0%	12%	51%	23%	5%	7%	1%	100%
	総計	8	67	334	101	19	31	18	578
		1%	12%	58%	17%	3%	5%	3%	100%

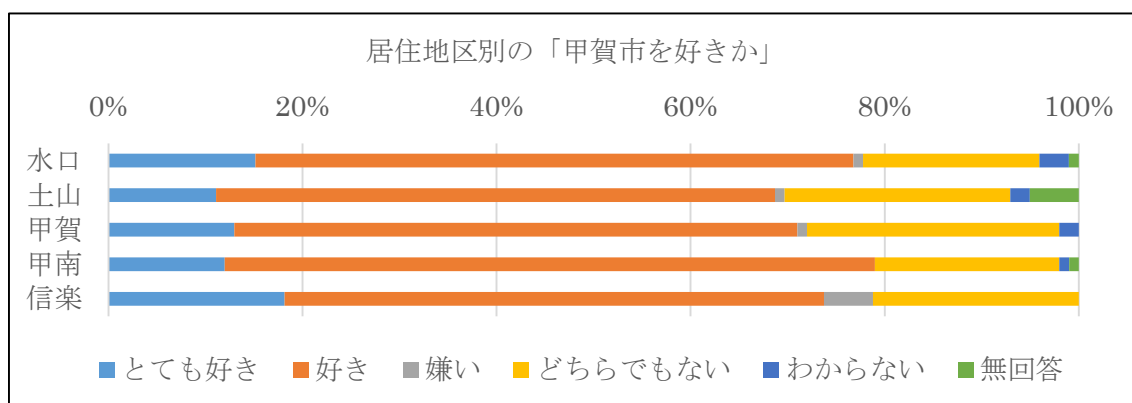


表とグラフを見る限り、女性部員の仮説とは異なり、市内のどの地区に住んでいるかは「行政サービス」の評価を分けているとは思えない。いずれの地区においても「普通」の割合が高い。ただし、他設問の自由記述欄で「田舎は放置されている」というものがあり、追加で質的な調査を行うとよいと思われる。

クロス集計④ 設問C「お住まい」と設問F「甲賀市を好きか」

コーディネーターが回答者の居住地域が「甲賀市の旧5町のうちいずれか」によって、「甲賀市を好きかどうか」が異なると考えたものである。そのため、設問Cで「甲賀市」を選んだ590件のうち、旧5町のいずれかを選択している578件について、設問F「甲賀市を好きか」の評価がどうであるかをクロス集計で示す。

		甲賀市を好きか						総計
		とても好き	好き	嫌い	どちらでもない	わからない	無回答	
居住地	水口	20	84	2	25	4	2	137
		15%	61%	1%	18%	3%	1%	100%
	土山	18	93	1	38	4	8	162
		11%	57%	1%	23%	2%	5%	100%
	甲賀	13	58	1	26	2	0	100
		13%	58%	1%	26%	2%	0%	100%
	甲南	10	54	0	15	1	1	81
		12%	67%	0%	19%	1%	1%	100%
	信楽	18	54	5	21	0	0	98
		18%	55%	5%	21%	0%	0%	100%
	総計	79	343	9	125	11	11	578
		14%	59%	2%	22%	2%	2%	100%

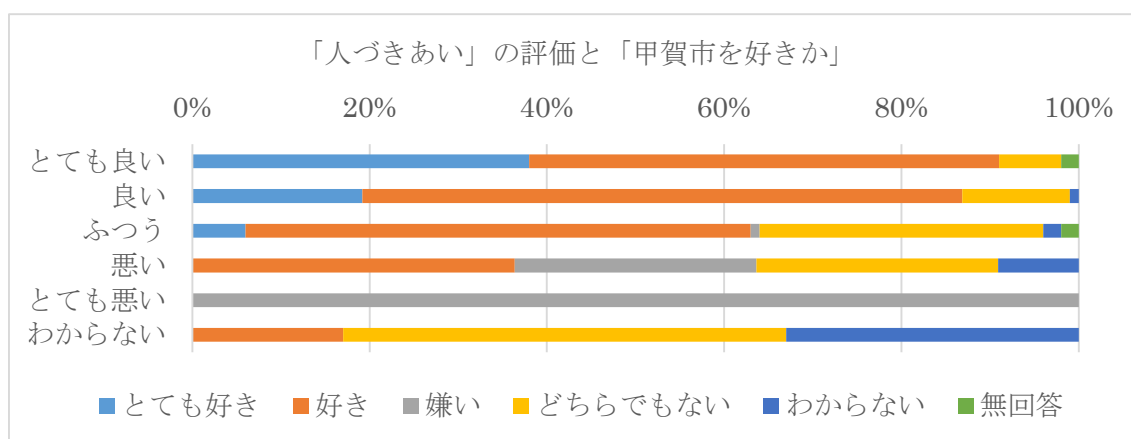


表とグラフを見る限り、コーディネーターの仮説とは異なり、市内のどの地区に住んでいるかは「甲賀市を好きかどうか」を分けているとは思えない。「交通の便」が特に悪かった信楽地区は、甲賀市を「とても好き」の割合が全地区でもっとも高い（18%）と同時に「嫌い」と答えた者の半分以上が同地区の住民である。そのため、信楽地区の住民には自市についての評価がじゃっかん割れているようにも見える。

クロス集計⑤ 設問G「人づきあい」と設問F「甲賀市を好きか」

自由記述で「人づきあい」に関する内容が多かったことを受け、甲賀市の「人づきあい」をどのように評価しているかということが、「甲賀市を好きかどうか」ということと関連があるのではないかとコーディネーターが考えたものである。クロス集計で示す。

		甲賀市を好きか						総計
		とても好き	好き	嫌い	どちらでもない	わからない	無回答	
人づきあい	とても良い	17	24	0	3	0	1	45
		38%	53%	0%	7%	0%	2%	100%
	良い	44	159	1	28	3	1	236
		19%	67%	0%	12%	1%	0%	100%
	ふつう	16	150	2	84	5	4	261
		6%	57%	1%	32%	2%	2%	100%
	悪い	0	4	3	3	1	0	11
		0%	36%	27%	27%	9%	0%	100%
	とても悪い	0	0	2	0	0	0	2
		0%	0%	100%	0%	0%	0%	100%
わからない	0	1	0	3	2	0	6	
	0%	17%	0%	50%	33%	0%	100%	
総計	77	338	8	121	11	6	561	
	14%	60%	1%	22%	2%	1%	100%	



表とグラフを見る限り、コーディネーターの仮説通り、2つの回答には強い関係があるように思われる。つまり、甲賀市は「人づきあい」が良いと評価している回答者ほど、甲賀市を好きである傾向が見て取れる。

IV まとめ

第3回未来創造委員会の時点においては、実地調査の結果のみから今後の方向性として寺社仏閣ツアー事業が導かれた。本報告書の位置づけは事業計画書によれば「部員事業所の経営計画策定に役立てることができる」ことであり、経営計画案を示すことではない。そのため、本報告書Ⅲに示される質問紙調査の結果を、女性部が今後の事業実施の際にはよく検討し、知見を導き出して活用することが必要である。

その実例として、本報告書のクロス集計が役に立つ。ふだん、感覚的に「こうであろう」と思っていることが、調査をして集計結果としてまとめることで、「やはりこうであった」と確認できたり、「実はそうではなかった」と発見できたりする。具体的には、甲賀市の住民は「人づきあい」によって市が好きかどうかを左右されており、そのことはクロス集計からも自由記述からも明らかである。

調査の実施主体（女性部かコーディネーターか）、調査の対象者（女性部員や近隣住民か、施設・イベントの来訪者か）等の事業運営に関する諸点において、事業主体とコーディネーターの間で度重なる齟齬があったことは否定できない。両者ともに、この齟齬による事業実施に実際的な問題が生ずることはなかったが、事業目標との整合性を高めるためにも、事務局を介した意思疎通をより一層図る必要があったと考えられる。

設計された質問紙と対象が異なるという根本的な問題は抱えるものの、女性部員が670件の質問紙を自主的に配布・回収したことは女性部の人的ネットワークや信頼関係が地域において十分に醸成されていることの証左である。本事業を通じて調査の基礎を習得された各部員が、自ら新たな調査を行い、調査結果に基づく冷静な経営計画案を策定できる素地があることは、このことによっても一定確認されたと言えよう。

また、調査を行うだけで終わるような調査事業は世の中に散見されるが、本事業においては調査を行うことは手段に過ぎないと女性部が明確に理解しており、手段と目的の混同は起きていない。そのため、今後、本事業の結果に基づき未来創造のための具体的な事業が計画・実施されることが大いに期待できる。

平成30年2月18日
コーディネーター 笠井賢紀
(龍谷大学社会学部准教授)